

寄宿舎だより

岩手県立気仙光陵支援学校
寄宿舎 令和4年度 第1号
令和 4年 5月 2日発行



「新しい出会いを大切に」

寮務主任 及川弘禪

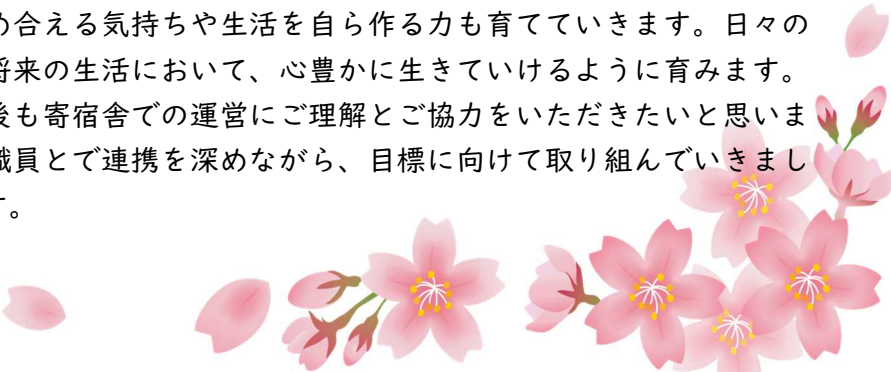
新年度を迎え、始業式と入学式を経て、寄宿舎での生活も始まりました。今年度は、男子17名、女子6名、合計23名の寄宿舎生となります。

新しく4月から入舎した子どもさんは、家庭を離れての生活に対し、少しの寂しさと新生活への緊張が見られます。しかし、先輩である上級生が優しく見守り、寄宿舎での生活の一つ一つを丁寧に一緒に行う場面が数多くありました。同じ部屋で一緒に話をしたり、外に出て「野球をしよう!」と遊びに誘ったり、食事の準備の仕方を教えたり、お風呂に一緒に入ったり、日々の生活の中で様々な関わりから、互いが成長する行動が見られます。それぞれの子どもさんが、自分の心と葛藤しながらも、仲間を信じ、歩み始めています。

保護者の皆様におかれましては、子どもさんが自宅から離れて生活することに、様々な不安と心配があると思います。私も自宅から離れて下宿する高校生の息子に対して、そうでした。「毎日、顔を見ることができない。学校では、しっかり勉強をしているのだろうか。生活で困ったことはないのだろうか。」などと考えたものです。しかし、成長を願うならば、親として今は、大きなエールで応援すべきだと考えます。人生を長く歩いてきた大人は、転ばぬ先の杖を用意してしまいます。しかし子どもさんにとっては、様々な実際の経験から学ぶことこそ、人生を生きるための力を手にすることなのです。寄宿舎でたくさんの人との関わりから多くのことを学び、変化していくと思います。子どもさんの成長を楽しみにして、帰省する日を待つことにしてみませんか。

寄宿舎での子どもさん同士の繋がりは、素晴らしいです。時短くして素直に心が打ちとけ、絆が生まれ、いつしか表情が笑顔になる。「縁」ある所以だと私は思います。「人は必要な時に必要な人に出会う」と言います。今、切磋琢磨しながら良い関係になっている子どもさんたちは、「出会うべくして出会っているんだな」。そう考えると嬉しい気持ちになります。世界人口70億人いるにもかかわらず、個人差はありますが人生80年と考え、実際に接点を持てるのは3万人です。確率にして0.0004%です。極めて少ないのです。新しい出会いとは、それ自体が貴重なことであり、人生において重要なことであり、ありがたいことです。大切にしたいですね。

寄宿舎では、学校への通学保障はもちろんですが、生活リズムを整える中で基本的な生活習慣を身につけます。また、仲間同士で認め合える気持ちや生活を自ら作る力も育てていきます。日々の暮らしの積み重ねが、子どもさんの将来の生活において、心豊かに生きていけるように育みます。保護者の皆様におかれましては、今後も寄宿舎での運営にご理解とご協力をいただきたいと思います。保護者さんと学校職員と寄宿舎職員とで連携を深めながら、目標に向けて取り組んでいきましょう。どうぞ、よろしくお願いいたします。



さつき会歓迎会

4月18日(月)、さつき会歓迎会が行われ、寄宿舎に7名の新入舎生が仲間入りしました。



みんなの拍手に迎えられて入場しました。



さつき会会長から歓迎の言葉です。



プロフィールを紹介された後、ひとりずつ「よろしくお願ひします」とあいさつができました。



新任職員紹介

P T A会報等で既にご存知かと思いますが、4月から寄宿舎に1名の新任職員が参りましたので紹介します。

したさか ちよこ
下坂 千代子

こんにちは! 盛岡視覚支援学校から来ました。

みなさんと楽しく過ごしたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

行事予定

5月17日(火) さつき会総会
28日(土) 運動会
30日(月) 運動会代休

6月20日(月)~ 前期実習期間

7月19日(月)~ 寄宿舎清掃週間
23日(土)~ 夏季休業

岩手県立気仙光陵支援学校 大船渡市立根町字宮田 33-3 (0192) 27-9810 [寄宿舎直通]

Eメール: kes-y@iwate-ed.jp 本校HP: <http://www2.iwate-ed.jp/kes-y/>